

国 語 総 合

教 科	国 語	単位数	2	学科・学年	全科 1年
使用教科書	新編 国語総合 (数研出版)				
副教材等	常用漢字オールクリア 四訂版 (尚文出版)				

「国語総合」はどんな科目？
 日本語の「話す・聞く」「書く」「読む」の3つの力をつけ、伝統的な言語文化と国語の特質について学びます。中学校までの基礎の上に、さらに発展した内容の「現代文」「古文」「漢文」の3つの分野を学ぶことによって、言語感覚を磨き、読解力・思考力・表現力を伸ばすことを目指します。国語の総合的な力をつける科目です。

「国語総合」の学習の特徴は？
 基本的には、小学校や中学校で学んだ「国語」と同じように学ぶ科目です。文章を読み登場人物の気持ちや筆者の思いを考えます。語句を調べたり漢字を覚えたりしながら文章の理解を深め、調子を味わいながら音読や朗読をします。また自分の思いを話したり書き表したりして、意見交換をします。

「国語総合」で大切なこと(留意点)は？
 1時間1時間の授業を大事にすることです。授業では必ず文章の内容を理解するように集中して黙読や音読を繰り返します。教科書の文章は全て正しく音読できるようになりましょう。ノートは毎時間提出します。1時間1ページのノート作りを目指しましょう。授業内容のまとめと、発問に対しての自分の考えや感想などを入れて、工夫のあるノート作りができるようになりましょう。また副教材による漢字練習は計画に従って必ずやり終えるようにします。漢字のテストを確実に受けましょう。国語は全ての基礎です。地道に取り組むことです。

1. 学習の計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。)

	月	学 習 内 容 (単元名)	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	随想「世界は一つのクラスルーム」 石田衣良	<ul style="list-style-type: none"> • 将来の仕事や夢に目を向け、クラスと世界の共通点を考える。 • やさしい古文を読んで、仮名遣いに慣れ、昔の人の心に触れる。 • 登場人物「少年」の成長を読み味わう。 • 漢文の基礎的な決まりを理解する。 • 格言の意味を理解し、暗誦する。 • 自分の興味のあることを読み手に理解してもらうように表現する。
	5	入門 古文の学習 宇治拾遺物語 「児のそら寝」	
	6	小説「とんかつ」 三浦哲郎 入門 訓読のきまり 格言 ・ 説明文を書く	
2 学 期	9	評論「水の東西」 山崎正和 <中間考査>	<ul style="list-style-type: none"> • 日本文化について深く考える。 • 古人の考え方を学ぶ。 • 故事成語の由来と意味を知る。 • 短詩型文学特有の調子を味わう。
	10	随筆 徒然草 「高名の木登り」 兼好法師	
	11	故事「漁夫の利」	
	12	<期末考査> 短歌と俳句	
3 学 期	1	小説「清兵衛と瓢箪」 志賀直哉	<ul style="list-style-type: none"> • 登場人物の行動や発言から、的確に人物像を描き小説を読み味わう力をつける。
	2	<学年末考査>	

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の5つの観点から行います。

関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
読む能力	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

評価方法
年5回の定期考査
長期休業中に出題される課題および休業あけの宿題テスト
学習への参加状況（出席状況、授業中の取り組み、問題演習への取り組み等） ノートのまとめ方 授業で活用するプリント、小テスト、朗読・暗唱テスト等への取り組み

1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

国語はとにかく授業第一です。3つの力をつけるために集中して毎時間の課題を確実にこなして下さい。忘れ物はしないことです。教科書は必ず自分のものを使い、文章の内容を理解するように集中して黙読や音読を繰り返します。文章は全て正しく音読できるようになりましょう。朗読や暗誦をすることで、「読む」「話す」力がつきます。ノートは毎時間提出します。1時間1ページのノート作りを目指し、自分なりの工夫を凝らしましょう。「書く」力は続けることで伸びます。

また漢字練習は授業でもやりますが、家庭学習でも積極的に取り組み、漢字検定を受検しましょう。国語は全ての学習の基礎です。地道に取り組むことが大切です。